

平成 24 年 度

〔平成 24 年 4 月 1 日から
平成 25 年 3 月 31 日まで〕

事 業 報 告 書

公益財団法人 メトロ文化財団

平成24年度事業報告

〔 平成24年4月 1日から
平成25年3月31日まで 〕

平成24年4月1日から平成25年3月31日までの当財団の平成24年度事業概況について、以下のとおりご報告申し上げます。

事業概況

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業、交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

平成24年度は、以下のとおり各事業を実施しました。

I 事業

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、地下鉄博物館の管理・運営を行いました。

本年度は、下記の特別展やイベント等を開催したほか、入館されたお客様に喜んでいただけるよう売店商品の新規開発や施設の改良、展示物の更新などを行いました。

以上の結果、本年度の入館者数については、東日本大震災の影響からの回復や東京メトロ銀座線に導入された新型車両1000系の波及効果のほか、駅構内掲出のPRポスターやホームページ、携帯サイトによる情報提供を行ったことにより、157千人（対前年度比4.9%増）となりました。なお、平成24年12月には地下鉄博物館が昭和61年7月に開館して以来350万人の入館者数を数えました。

また、入館料・売店の収入についても5,810万円（対前年度比5.9%増）となりました。

(1) 特別展の開催

ア「千代田線車両の技術変遷展～ローレル賞の受賞を記念して～」の開催

(平成24年6月12日～8月5日)

千代田線開業では、数々の新技術を導入しましたが、その中でも6000系車両は、回生ブレーキ付きサイリスタ・チョッパ制御装置を搭載し、経済性重視の画期的なもので、車両デ

デザイン性も高いことから、昭和47年に鉄道友の会からローレル賞の榮譽に輝きました。

その後、平成23年に登場した16000系新型車両は、永久磁石同期型モーターによる駆動システムを採用し、環境に配慮した省エネルギーの推進に貢献したことが評価され、再びローレル賞に輝きました。

この特別展では、こうした千代田線車両の輝かしい栄光の歴史を刻むことになった車両技術の歴史的変遷を中心に写真パネルやスライド映像等により紹介いたしました。

イ「地下鉄誕生展～ロンドンの地下鉄開通から150年～」の開催

(平成24年11月20日～平成25年1月14日)

世界で最初の地下鉄は、今から150年前の1863年1月、イギリスロンドンのメトロポリタン鉄道という民間会社によって誕生しました。約3年を費やして建設され、当時は電車ではなく、蒸気機関車により運転されていました。なお、当時の日本は幕末とはいえ江戸時代のことでありました。それから150年が経過し、地下鉄は、今では世界の多くの国々で、都市交通を支える重要な役割を果たしております。

この特別展では、都市の近代化や発展に大きく寄与した地下鉄の開通の歴史を紐解き、ロンドンのメトロポリタン鉄道の開通に尽力した方々の功績や、メトロポリタン鉄道の開通から64年後の昭和2年(1927年)12月に数々の苦難を乗り越えて日本初の地下鉄を東京に開通させた早川徳次氏の功績など、現在までの150年間にスポットをあて、地下鉄誕生に向けた苦難や功績等を写真パネルや模型等により紹介いたしました。

なお、特別展の開催に当たり、ロンドン交通博物館(London Transport Museum)のご協力をいただきました。

ウ「東西線開業と沿線地域発展の軌跡展」の開催 (平成25年3月12日～4月21日)

東西線は、首都圏の交通機関の混雑緩和を図ることを目的に建設され、昭和44年3月に中野～西船橋間が全線開通しました。江東区及び江戸川区並びに千葉県西部地域を走る東陽町～西船橋間は、当時地下鉄では唯一の快速列車を運行し、千葉方面と都心部との所要時間を大幅に短縮し、開業後の利用者が急激に増加しました。

東西線が開業する前の昭和40年代初めの葛西、浦安、行徳地区は埋立地そのままに昔の面影を残すのどかな風景が広がっていましたが、地下鉄ができたことにより急速に都市化が進み、居住人口が増え続けました。

この特別展では、高度経済成長期に建設された東西線がその後の発展に寄与した歴史、特に江戸川区、千葉県西部にスポットを当て沿線地域発展の軌跡を写真パネルや映像等により紹介いたしました。

なお、特別展の開催に当たり、地元江戸川区郷土資料室・中央図書館のほか、浦安市郷土博

物館、市川市歴史博物館・映像文化センター等のご協力をいただきました。

(2) イベントの実施

入館されたお子様やご家族に楽しんでいただけるよう、入館者の多い春休み、ゴールデンウィーク、夏休み、鉄道の日、冬休みの各期間において、「映画の上映」、「館内探検クイズ」「おもしろ館内キッズツアー」「ミニセミナー」「電車と競争！パズルに挑戦」、「新春クイズ大会」などのイベントを実施いたしました。

(3) 教育実習活動の実施

学芸員資格取得のための博物館実習のほか、近郊の中学校からの要請による職場体験学習(チャレンジ・ザ・ドリーム)の受入れ等教育実習活動を行いました。

(4) 地下鉄関連資料の収集、保存

地下鉄に関する各種資料、写真等を収集、整理、保存するとともに、各種資料のデータベース化を行いました。また、これまでデータベース化した貴重な資料を活用し、広く一般の方々にご覧いただけるよう平成24年4月から当財団ホームページ内に「メトロアーカイブアルバム」を立ち上げ、公開を開始いたしました。さらに、アルバム公開後順次画像等の更新も行いました。

(5) 展示物の更新及び施設の改良等

特別展の開催に合わせて16000系HOゲージ模型を製作購入したほか、展示物の充実を図るため展示用ケースを購入しました。また、早川徳次氏の胸像を広い場所に移設するとともに、全国に広がる地下鉄事業者のシンボルマークと解説を展示物として設置しました。

さらに、トイレについては、個室の拡大、授乳室の新設、給排水設備の更新等全面的な改良を行いました。

(6) オリジナル商品の開発と販売

入館されたお客様に喜んでいただけるよう、ミュージアムショップでの新規オリジナル商品として、乗務員が保持するような懐中時計、レインコート、傘、学習ノート、パスケースなどを開発し、販売いたしました。

地下鉄博物館の管理・運営に当たっては、本年度も多くのお客様にご来館いただけるよう、博物館のホームページ、駅構内掲出のポスター、携帯サイトなど、各種媒体を通じて特別展やイベントの開催等を紹介いたしました。また、テレビ局、新聞社、雑誌社等のメディアの取材、インタビューにも積極的に対応し、博物館のPR、お客様の誘致活動を推進いたしました。

2 交通文化事業

音楽会、絵画展、写真教室、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を提供するため、次の事業を実施しました。

(1) メトロコンサートの開催

青少年への音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、地下鉄博物館ホールにおいて、メトロコンサートを次のとおり年3回（各午前と午後の2回）開催しました。

・第52回 メトロコンサート

“雨に歌えば”（平成24年6月16日開催）

出演：雨上がり音楽隊（ピアノ、ソプラノ、チェロ、バリトン、ヴァイオリン）

来場者259名

・第53回 メトロコンサート

“クリスマス・ファミリーコンサート”（平成24年12月15日開催）

出演：ララ・カンツォーネ（ソプラノ、テノール、バリトン、ピアノほか）

来場者303名

・第54回 メトロコンサート

“金管五重奏の元気なハーモニー”（平成25年2月9日開催）

出演：東京都交響楽団メンバーによるブラスクインテット

（トランペット、ホルン、トロンボーン、テューバ）

来場者345名

(2) 「メトロポリス・クラシックス」コンサートの開催

気軽にクラシック音楽を楽しんでいただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者の募集を行い、17,426名の応募者の中から厳選のうえ2,000名を招待し、サントリーホールにおいて、次のとおりコンサートを開催しました。

・第7回「メトロポリス・クラシックス」コンサート（平成24年10月13日開催）

TOKYO LONDON NEWYORK ROME 4大都市を音楽で巡るスペシャルコンサート

“オーケストラと訪ねる音楽の旅”

出演：東京都交響楽団メンバーほか

来場者1,715名

(3) 音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

福祉活動に寄与するため、都内の福祉施設、病院等において「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を次のとおり年7回開催しました。

・第43回 社会福祉法人 邦友会 特別養護老人ホーム 新宿けやき園

（平成24年5月15日開催）

出演：東京都交響楽団メンバー他

来場者 78名

・第44回 社会福祉法人 あそか会 特別養護老人ホーム 江東ホーム

(平成24年6月21日開催)

出演：ララ・カンツォーネほか 来場者 67名

・第45回 筑波大学附属視覚特別支援学校 (平成24年7月2日開催)

出演：東京都交響楽団メンバーほか 来場者105名

・第46回 東京慈恵会医科大学附属病院 (平成24年9月5日開催)

出演：東京都交響楽団メンバーほか 来場者114名

・第47回 社会福祉法人 あそか会 特別養護老人ホーム 塩浜ホーム

(平成24年10月23日開催)

出演者：ララ・カンツォーネほか 来場者 62名

・第48回 日本赤十字社医療センター (平成24年11月25日開催)

出演：東京都交響楽団メンバーほか 来場者 73名

・第49回 社会福祉法人 賛育会 特別養護老人ホーム 東京清風園

(平成25年1月29日開催)

出演：東京都交響楽団メンバーほか 来場者 75名

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び、駅構内等に展示する「メトロ文化展」を次のとおり開催しました。

ア 児童絵画の部（メトロ児童絵画展）

地下鉄に興味を持っていただけるよう、小学生を対象に安全やマナー等に関する絵画作品の募集を当財団のホームページやメトロニュース等で行った結果、9,071点の応募がありました。3名の審査員により、応募作品の中から優秀作品300点及び奨励賞作品300点を選び、「メトロ文化展 児童絵画の部」として次のとおり展示しました。

・第一次展示（「鉄道の日（10月14日）」を挟む平成24年10月6日から10月17日まで）

優秀作品（特選）30点を銀座駅コンコースに展示

優秀作品（特選を除く。）270点を日本橋駅コンコースに展示

・第二次展示（平成24年10月19日から10月26日まで）

奨励作品300点を日本橋駅コンコースに展示

・第三次展示（平成24年10月30日から11月11日まで）

優秀作品（特選を含む。）300点を地下鉄博物館に展示

審査員： 大石法枝氏（新象作家協会委員）

小野孝一氏（現代童画会常任委員）

川内 悟氏（公益社団法人二科会常務理事）

イ 写真の部（メトロ写真教室・写真展）

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などを撮影する喜びを体験していただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を次のとおり年2回開催しました。また、撮影作品の中から選考のうえ、日本橋駅コンコースにおいて「メトロ文化展 写真の部」として展示しました。

(7) 第30回 写真教室及び撮影会（平成24年5月19日開催）

場 所：浜離宮恩賜庭園内 応募者数158名 参加者38名

講 師：中谷吉隆氏（公益社団法人日本写真家協会名誉会員）

作品展示：82点を展示（平成24年7月21日から7月30日まで）

(4) 第31回 写真教室及び撮影会（平成24年10月15日開催）

場 所：押上～京島周辺（下町からスカイツリーを撮ろう）

応募者181名 参加者43名

講 師：同 上

作品展示：82点を展示（平成25年1月19日から1月28日まで）

ウ 文学の部（メトロ文学館）

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、「東京で感じるあなたの心」をテーマにした「詩」の募集を、当財団のホームページやメトロニュース等で年2回行い、選定された優秀作品を電車内ポスターに掲出するとともに、「写真の部」と同時に日本橋駅コンコースにおいて「メトロ文化展 文学の部」として展示しました。

(7) 作品募集と掲出

第15回 募集（平成24年4月1日から5月31日まで）

応募・掲出作品：282編（215名）の中から6作品を電車内に掲出

第16回 募集（平成24年10月1日から11月30日まで）

応募・掲出作品：325編（221名）の中から6作品を電車内に掲出

(4) 作品選定

選者：白石公子氏（詩人、エッセイスト）

(7) 作品展示

第15回作品を平成24年7月21日から7月30日まで、第16回作品を平成25年1月19日から1月28日まで展示しました。

(5) 沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種行事等を紹介した小冊子「いきいきTOKYO夢職人」を4月、8月、1

2月の3回、それぞれ3万部制作し、地下鉄博物館及び東京メトロ全駅に常置したほか、当財団ホームページでも紹介しました。

(6) メトロ歴史教室の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室を次のとおり年2回開催しました。

ア 第20回 歴史教室（平成24年11月10日開催）

場 所：江戸庶民・職人の町を歩く（日本橋遍） 応募者数203名 参加者39名

講 師：山田 徹氏（大学講師：地理学・地誌学専門）

イ 第21回 歴史教室（平成24年11月24日開催）

場 所：同 上 応募者数117名 参加者31名

講 師：同 上

(7) 「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に寄与するため設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行いました。展示は、地元豊島区と分担して行いましたが、当財団は平成24年6月に、平成23年度における東京藝術大学美術学部・大学院美術研究科の「卒業・修了作品展」の中で、優秀賞に選ばれた方の作品を展示しました。また、平成24年7月には「江戸の涼」と題して、真夏の夜の両国の風景等を描いた錦絵を展示し、平成25年1月には「大江戸一覧と初春の景色」と題して、東京スカイツリーのある向島辺りから江戸の町を眺めたような鳥瞰図や初春の景色を描いた錦絵を展示しました。

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図るため、次の事業を実施しました。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月、東京メトロの全駅及び電車内に掲出しました。本年度は「!？」を共通アイコンにして、ポスターに登場するキャラクター「マナグマ」が様々な人たちと関わる中で、公共の場でのマナーにおける気づきや疑問を「!？」と「メッセージ」で表現した作品としました。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配付

小学生が学ぶ社会科の参考資料として、交通マナー、地下鉄の歴史、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を45万部制作し、都内全域と近県の小学校3,362校及び教

育委員会に配布するとともに、地下鉄博物館及び東京メトロの全駅に常置しました。

(3) 鉄道教室の開催

地下鉄の知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に、当財団のホームページやメトロニュース等で参加者を募集し、東京メトロの施設見学、駅員・乗務員との交流及び「日本で最初の地下鉄物語」と題したセミナーなどの「鉄道教室」を次のとおり開催しました。

・第12回 鉄道教室（平成24年8月25日開催）

場 所：東西線妙典駅、妙典乗務管区車掌事務室・運転事務室、地下鉄博物館

応募者数481名 参加者83名

(4) 啓蒙用グッズ類の配付

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作・購入し、各種イベントの参加者等に配付しました。

Ⅱ 庶務

1 理事会

(1) 第1回(平成24年6月6日開催)

ア 「平成23年度事業報告及び決算報告に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「定時評議員会の招集に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「基本財産の指定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

エ 「業務執行理事の業務分担に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

オ 「役員報酬に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

カ 「規程の制定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「公益財団法人への移行経過について」報告がありました。

「職務執行状況について」報告がありました。

(2) 第2回(平成25年3月21日開催)

ア 「特定資産取扱規則の制定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「財団本館建物の建替に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

ウ 「平成25年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みに関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「職務執行状況について」報告がありました。

2 評議員会

(1) 平成24年度定時評議員会(平成24年6月21日開催)

ア 「平成23年度事業報告及び決算報告に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

イ 「規程の制定に関する件」について審議し、原案どおり可決されました。

報告事項

「公益財団法人への移行経過について」報告がありました。

「第1回理事会の審議内容について」報告がありました。

3 官庁事項

内閣府への届出事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成24年4月12日 公益財団法人への移行登記完了届
- (2) 平成25年3月22日 平成25年度事業計画書等の提出

4 登 記

今期における登記事項は、次のとおりであります。

- (1) 平成24年4月1日
 - ・特例民法法人の解散及び公益財団法人の設立
 - ・土坂泰敏代表理事就任
 - ・梁川 卓、竹内良治、荒井邦雄、内田喜恵、白石公子、鈴木嗟峨子、竹内 誠、中谷吉隆、平松英子理事就任
 - ・鶴澤秀行、増井健人監事就任
 - ・小坂彰洋、實方 健、鈴木章生、辻 恵子、花上嘉成、平野直樹、巻島 豊、山田 徹、湯座正和、若林 功評議員就任

5 役 員

- (1) 平成24年4月1日
 - ・土坂泰敏、梁川 卓、竹内良治、荒井邦雄、内田喜恵、白石公子、鈴木嗟峨子、竹内 誠、中谷吉隆、平松英子理事就任
 - ・土坂泰敏代表理事会長、梁川 卓理事長、竹内良治専務理事就任
 - ・鶴澤秀行、増井健人監事就任

今期末における役員は、次のとおりであります。

会 長 (代表理事)	土 坂 泰 敏
理 事 長	梁 川 卓
専務理事	竹 内 良 治
理 事	荒 井 邦 雄
理 事	内 田 喜 恵
理 事	白 石 公 子
理 事	鈴 木 嗟 峨 子
理 事	竹 内 誠
理 事	中 谷 吉 隆
理 事	平 松 英 子
監 事	鶴 澤 秀 行
監 事	増 井 健 人

6 評議員

- (1) 平成24年4月1日 ・小坂彰洋、實方 健、鈴木章生、辻 恵子、花上嘉成、平野直樹、
巻島 豊、山田 徹、湯座正和、若林 功評議員就任

今期末における評議員は、次のとおりであります。

小 坂 彰 洋	實 方 健	鈴 木 章 生
辻 恵 子	花 上 嘉 成	平 野 直 樹
巻 島 豊	山 田 徹	湯 座 正 和
若 林 功		

7 従業員

今期末における従業員数は、36名であります。

平成24年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成25年6月

公益財団法人 メトロ文化財団